

Shuichi Sato

佐藤 修一 監督



前に出る走りを

田村市の選手の特徴は素直で明るい共通するところ。高校で本格的に走り始めた、俗に言う遅咲きの選手であるが、長距離ランナーにとって大事な「身体的な細さ」があり、伸びる要素を持っている5人。

1年時は練習に慣れるのに時間を要していたが、既にエース級に育っている選手もいる。まだまだ人間的に成長しなければならぬところがあり、学業や日常生活で基本的なことができるようになると、さらに練習も積めるようになる。田村高校の選手は、3年時にみんなすごく強くなるので、最後の大会でレギュラーを勝ち取り、活躍する選手になることを期待しています。

Challenger

田村市出身の高校生アスリートに注目したインタビュー企画「Challenger 挑戦者」を連載中！市内外で活躍する高校生アスリートを知ってほしい、応援してほしいという思いで取材しています。同じ夢を持つ子どもたちの目標や、きっかけにもなればうれしいです。【バックナンバーはコチラ▼】

夢を追う高校生のリアルな声をお届け！



Yuma Sakuma =船引町=

佐久間 悠真



みんなに追いつき、追い上げる

中3時の福島県中学校駅伝大会、9位で惜しくも入賞を逃し、悔しくてみんなで泣いて、その時にこれからは駅伝を続けたいと思ったし、やるなら強豪校で自分を磨きたいと思い田村高校を選びました。みんなが田村高校に進学するというのも大きなきっかけになりました。

入部当初は同学年でタイムが一番下。それでも上に行けるように努力して、みんなに少しずつ追いついてきて、タイムを30秒縮めることができました。次は自分がみんなを追い上げる番だという気持ちで頑張っています。高校で陸上部に入り、本気で上を目指したいというスポーツに出会えたと感じています。何より大変で大事だと実感したのは、ケガをしないで練習を「続ける」こと。その上でメンタルも鍛えられています。

Profile

2006年1月15日生まれ、船引中(野球部)出身。172cm・55kg。中2時から特設駅伝部で陸上を始める。中3時にふくしま駅伝田村市チームに抜擢、高1時14区に出場。自己ベスト5000m16分20秒。座右の銘：「今この瞬間にベストを尽くす」憧れの選手：相澤晃(旭化成)



Daiki Yaginuma =船引町=

柳沼 大綺



“もっと速く”が原動力

小学生の頃からサッカーが好きで続けていましたが、陸上の成績の方が良かった。中2から参加していたふくしま駅伝でも、最初は練習についていけませんでした。中3の頃からついていけるようになり、本番も走ることができて自信につながって。正直、高校では部活をやらないと考えた時期もありましたが「みんなと駅伝をやりたい」と思い陸上部に入ることにしました。

入部当初はケガも多くみんなに置いて行かれていましたが、目標としていた5000m、15分台を出すことができました。まだまだ納得できるタイムではないので、自己ベストを更新し、もっと速くなりたいという気持ちが原動力です。中学の頃は、部活をサボることもありましたが(笑)、今は走りたい気持ちが強くなった。本当に精神面が成長したと思います。

Profile

2006年1月7日生まれ、船引中(サッカー部)出身。166cm・48kg。中2時から特設駅伝部で陸上を始める。中2時にふくしま駅伝田村市チームに抜擢、中3時6区、高1時13区に出場。一定のペースで走ることが強み。自己ベスト5000m15分50秒。座右の銘：「怯まず前へ」尊敬する人物：齋藤健人(田村高校)



Mutsuki Yamano =船引町=

山野 睦生



田村高校の伝統を取り戻す

中学時代に、陸上競技が自分に向いているスポーツだと感じ、当時の担任の先生からの勧めもあって、田村高校で挑戦したいと思い入部することを決めました。入部してからは、ケガもあり目標とする走りができず悔しさが残りましたが、今年は自己管理をしっかりと、目標タイムを出せるように頑張りたいです。

陸上を始める前は、本当にだらしない生活をしていました(笑)。そのままいたら、なんでもすぐ途中でやめる性格になっていたと思います。もちろん、やめたいと思う時もありますが(笑)、精神的にも少しは強くなったし、陸上の楽しさを知ったので「走りたい」という気持ちが勝っています。大会や記録会の後に、みんなで自然とその日の反省を話しているときに仲間を感じます。

Profile

2005年7月9日生まれ、船引中(バスケットボール部)出身。176cm・59kg。中2時から特設駅伝部で陸上を始める。中2時にふくしま駅伝田村市チームに抜擢、中3時2区、高1時5区に出場。長い距離や上り坂が得意。自己ベスト5000m16分6秒。座右の銘：「あきらめたらそこで試合終了」尊敬する人物：富岡晃世(国土館大)



Hakuto Gunji =常葉町=

郡司 珀翔



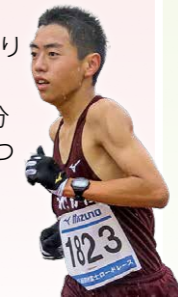
同学年エースと肩を並べたい

中学ではバスケットボール部に所属していましたが、下手くそで先生に怒られてばかりでした(笑)。でも陸上では、あまり先生に怒られることがなく、むしろ褒められてうれしかった。高校でもっと強くなれるように頑張りたいと思い陸上部に入部しました。

田村高校の先輩とは入部前から一緒に練習していて、当時はジョブにもついていけず不安でしたが、入部してだんだん走れるようになって、憧れの先輩たちに少しでも追いつきたい、自分も速くなりたいという思いで1年間頑張ってきました。正直、体力テストは、ほとんど記録が悪い(笑)。でも持久走だけは、自信を持ってできること。精神面もずっと強くなったし、風邪もひかなくなった。陸上を続けてきてよかったと思っています。

Profile

2006年2月2日生まれ、常葉中(バスケットボール部)出身。160cm・45kg。中1時から特設陸上駅伝部で陸上を始める。中1時にふくしま駅伝田村市チームに抜擢、中2時3区、高1時10区に出場。粘り強さと我慢強さが強み。自己ベスト5000m15分20秒。座右の銘：「いつかは必ずいつか」尊敬する人物：横田星那(国土館大)



Ren Watanabe =常葉町=

渡邊 煉仁



タスキをつなぐ駅伝が好き

中1の時、ふくしま駅伝を常葉中の先輩が走っているのを見て「カッコいい」と憧れを持ちました。それから頑張って、中2の時に初めてふくしま駅伝を走らせてもらって、「駅伝」が楽しくて、来年もまた走りたいたいという思いが続いて、高校では陸上部に入ることを決めました。駅伝の楽しさは、仲間が待っていてくれること、仲間のために全員が全力を出し切るところ。タスキを渡す時も仲間の顔が見えるのが楽しい。

陸上を本格的に始めて一年、初めての夏合宿では今まで走ったことのない距離をひたすら走って、足も精神的にも限界。最後は泣きそうになりながら走っていました(笑)。でも、走り切った後やタイムが出た時の達成感、ダウン中にみんなで話しているのが楽しくて、それが走る原動力になっています。

Profile

2005年8月29日生まれ、常葉中(バスケットボール部)出身。160cm・45kg。中2時から特設陸上駅伝部で陸上を始める。中2時にふくしま駅伝田村市チームに抜擢、中2時8区、中3時7区、高1時2区に出場。粘り強い走りが武器。自己ベスト5000m15分29秒。座右の銘：「努力に勝るものはなし」憧れの選手：神野大地

